

大学院研究室だより

平成18年度修士論文題目と執筆者氏名

英語学専攻

“On Multiple Wh-Questions in English and Japanese” ……遠藤 直美

“How do Language Proficiency and Interactive Role Affect Speaking Performance?” ……河野 香菜

“The Relation between Type of Text Simplification and Reading Comprehension in Learners of English as a Second Language” ……三輪 拓也

“What Motivation do Japanese Junior High School and High School Students Have toward Learning English?” ……伊藤 友佳子*

“A Study on the Double Object Construction in English” ……酒井 秀貴*

“Criteria for Using English Songs at Primary Level” ……滝沢 梢*

言語科学研究第13号（2007年）

日本語学専攻

“終助詞「よね」の習得に関する一考察 — 韓国人日本語学習者の場合 —”

……………鎌田 牧子

“連体修飾節におけるトイウの機能 — 文法化プロセスに見られる統語的特徴 —”

……………眞鍋 雅子

“状態述語としての「VNする」 — 「意味する」は状態を意味する —”

……………中村たか子

“中国語を母語とする日本語学習者による「シテイル」の使用について”

……………張 磊

“淡路島南部方言のAspect”

……………内田 友代

“在日外国人児童における言語能力に関する一考察 — 滞在年数と読解力・会話力の関係を中心に —”

……………神尾 悠子*

“ケドとノニ — いわゆる逆接の意味を表す接続助詞について —”

……………大熊 隆史*

“日本人英語学習者の英語使用場面における言語管理 — 事前調整を中心に —”

……………高橋 琴江*

(* …… 修士研究報告)

「言語科学研究センター」(Center for Language Sciences : CLS)

CLSでは、平成18年度に以下の研究会を主催した。言語学関連では、本学大学院を修了（または修了を予定）し、独自の研究を進めている研究者4名に最近の研究を発表してもらった。言語教育学関連では、過去2年度に引き続き、早期英語に関するコロキウムを開催した。これは、小林美代子教授を研究代表者とする日本学術振興会科学研究費の補助金（基盤研究（B））によるプロジェクト『早期英語教育の指導者養成及び研修の実態と将来像に関する総合的研究』（研究分担者：長谷川信子、堀場裕紀江、他）と連携したものである。また、CLSでは、平成16年度12月から、科学技術振興事業（JST）社会技術研究事業の公募型研究領域〈脳科学と教育II〉による、5年間にわたる他大学との合同研究プロジェクト『言語の発達・脳の成長・言語教育に関する統合的研究』（研究リーダー：萩原裕子、首都大学東京）の研究サブ領域「言語能力検査・評価」（研究機関代表者：長谷川信子／研究分担者：井上和子、小林美代子、堀場裕紀江）を担当し、早期英語教育に関わる基礎研究として「早期英語の基本語彙」の編纂とそれを基盤とした「早期英語語彙テスト」の開発を行っている。

こうした研究成果も含め、CLSでの研究の成果は、研究紀要 *Scientific Approaches to Language* (SAL) にも掲載されており、18年度末には SAL 第6号が刊行予定である。SAL 掲載論文および研究会など、より詳しいCLSの活動内容はCLSのホームページ〈<http://cls.kuis.ac.jp>〉に掲載されている。

平成18年度 言語科学研究センター 研究会

＜言語学研究発表会＞

日時：2007年1月13日（土）

発表者：

- ・高橋 将一 氏（東京大学／マサチューセッツ大学アマーフト校・日本学術振興会特別研究員）

Variable Binding in Temporal Adverbial Clauses : Evidence from Ellipsis

- ・山田 昌史 氏（鳥根県立大学・専任講師）

述語のアスペクト特性と統語構造：フェイズ理論を基軸として

言語科学研究第13号（2007年）

- ・上原 由美子 氏（神田外語大学言語科学研究センター・非常勤研究員／神田外語大学留学生別科・非常勤講師）

「ていただく」の機能－尊敬語との互換性に着目して－

- ・眞鍋 雅子 氏（神田外語大学・修士課程）

連体修飾節におけるトイウの機能－文法化プロセスにみられる統語的特徴－

<第4回早期英語教育コロキウム>

日時：2007年2月10日（土）

講演者：

- ・オーラ・クウォ 氏（香港大学教育学部・准教授）

教育改革の時代の教師たち－学びの場の創造－

- ・ボブ・パウウェル 氏（英国ウォーリック大学・元外国語センター長）

小学校外国語教育へ向けてイギリスの取り組み

－教育行政、現場の取り組み、及び研究の視点から－

後援：ブリティッシュ・カウンシル

<言語教育レクチャー>

日時：2007年2月14日（水）

講演者：

- ・望月 正道 氏（麗澤大学外国語学部／大学院言語教育科英語教育専攻・教授）

語彙知識の記述と測定および JACET8000の改訂方法について